

私たちの音楽

廣瀬日乃

いつもの大衆音楽が落ち着かない 耐えられない不快さを感じる
眠気に耐えながら観た難解な映画はやけに綺麗だったのに

……言葉に責任を持ちたいので言い直させていただきます。

・大衆がカタルシスを感じるために消費する用の商品は気持ちが悪い
耳に流れてくる自分が選んだはずの音楽が陳腐に感じる、チープ
・コーヒーを飲みながら脈絡の飛んだフランス映画を観た、退屈だった
しかし今になって思い返す、ラストシーンが美しかった

……それらしい言葉をてきとうに紡ぐことしかできないならば
私の人生から作詞は削除します。あまりに恥辱的なので。
自分の凡庸さを確認する作業は苦しいので。
今から私の言葉を並べてみます。

エントリーシートを書いた

商業的な文章が妙に上手だった

自分を魅力的な商品と思わせるセールスがうまいだけの虚しい行為
もつと世界の話がしたいのに

ダ・ヴィンチは自然界には輪郭線がないと述べた

あるのは明暗のグラデーションだけ

物質同士は真に一つなのだ

すばらしい世界だ まるで理想郷

すると嫌いなあの女も私の一部なのか？

人が死んでいるニュースを見たい時だけ見て涙を流している（かも）

そう まさに映画を見るかのように

悲劇を娯楽として食い潰さないと言い切れない

本物の地獄で本物の人間が藻掻いているのにね

→安い言葉

言葉が安いのではなく、私自身が安いから言葉が軽くなる

銃弾に肉を削がれた人の雄叫びを

母が 子を失った母の喘ぎを

その場で聞いたら何か変わるか

戦争がライブ会場になるだけだ

私には安息の地があるのだから

本当に我々は同じ世界を生きているのか

私は他者パレスチナ人の一部とは本当か

彼らは地獄を見ている

一方で

残酷の中にあざあざと

恐ろしいほどの美しさを見うる

その美しさを知覚することは私にはできない

私は彼らにとっての樂園のような場所に存在する他の個体なのだ

地獄の中の美しさは文学で擬似体験することしかできない

消費することしかできない

ならお前ムスリムになってガザに住めばって？

断る

私は平和の国の住人だから

傷つけた果てに被爆した国の

旨み成分に生きる侵攻者の子孫だから

本当にごめんなさい

そういう煉獄で私は生きていきます

ジャン＝リュック・ゴダール *Notre musique* に寄せて